

愛知医科大学病院

病院長名 天野 哲也

所在地 〒480-1195
愛知県長久手市岩作雁又1番地1

交通案内 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分
東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学病院救急科専門医育成プログラム研修

【目標】 国民に良質で安心な標準的医療を提供できる救急科専門医を育成すること。

【研修期間】 3年間

【研修スケジュール】

基幹病院では重症救急症例の病院前診療（ドクターヘリ研修・特殊災害医療）、初期診療、集中治療（クリティカルケア）を行うことにより救急研修に必要なほとんどの症例を経験します。一般外科、整形外科、外傷外科、形成外科、麻酔、総合診療の各サブスペシャリティコースを設定し、小児研修、地域医療研修と合わせて、専攻医の希望に応じて研修協力病院を順番にローテーションします。

研修の順序、期間等については、専攻医の皆さんを中心に考え、個々の専攻医の基部と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して研修基幹施設の研修管理委員会が見直して必要に応じて対応致します。



▲カンファレンス



□ 主な連携施設

○知多半島総合医療センター ○総合大雄会病院 ○江南厚生病院 ○藤枝市立総合病院 ○あいち小児保健医療センター ○中津川市民病院 ○市立奈良病院 ○諏訪中央病院 ○豊橋医療センター ○西尾市民病院 ○済衆館病院 ○安城更生病院 ○利尻島国保中央病院 ○名古屋掖済会病院 ○三重大学病院 ○大津日赤病院 ○中京病院 ○伊那中央病院 ○小牧市民病院 ○名古屋市立大学附属東部医療センター ○名古屋市立大学病院 ○公立西知多総合病院 ○春日井市民病院 ○日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 ○豊橋市民病院 ○豊田厚生病院

□ メッセージ

指導医（教授 渡邊 栄三）

当科では、「Academic Critical Care」をモットーに、研究・教育・臨床の3本柱を集結して救急患者全例救命を目指しています。ドクターヘリはもとより、救急蘇生室では、Hybrid ERの導入も決定しており、早期治療介入によるさらなる救命率向上を目指します。そして、救急現場から集中治療室（ICU）管理までシームレスなCritical Careを展開しますが、その過程では終始、スピーディーかつダイナミックに変化する重症病態への対応も要します。私たちは、各種モニタリング装置や人工補助療法を駆使しながら、各患者さんにtitration therapyを行い、病態の可及的早期改善を試みるCritical Careを昼夜問わず行っています。そして、その個々のケースへの診断、治療が、良い転帰に繋がることを励みに取り組んでいますが、それにはBench to Bedsideの研究も欠かせません。このように、病院前、ERからICU診療まで、全ては目の前の患者救命のために、全職種でmultidisciplinaryなAcademic Critical CareをOne Teamで実践して行きます。とてもやりがいのある仕事です。是非私たちと一緒にやっていきましょう。



□ 募集要項

・採用予定人数	6人
・給与／月額	月額:436,644円(免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	5～6回
・当直料／回	(救急外来) 宿直手当 約39,000円(病棟) 宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当, 住宅手当, 扶養手当, 賞与(年2回), 社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金)), 健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 津田雅庸 電話番号 0561-63-1957 Eメール tsudam@aichi-med-u.ac.jp